

チームで戦うことで、
勝つ喜びが生まれる

「今回のセレクションでは、常に心がけている『周囲への声掛け』を大切にしながら、キャッチングの技術とスローイングの正確さを武器に挑みました。選抜されたことが知ったときはとても驚きましたが、これから頑張らなければと、気持ちを新たにしました」と語る丸石さん。

野球をやっていたお父さんの影響で、幼いころから遊びもテレビを見るのも野球だったため、自然と野球が好きになったそうです。

そして、小学生の時に野球チームに入ってから、チームで戦うことの魅力を実感します。

「野球は誰かがミスをして周りがカバーすることで勝つことができるスポーツです。試合で競って、苦しいながらもチームでもが



▲選抜チームの強化合宿に参加し、練習に励む丸石さん

いて勝ったときは本当にうれしいです」。

中学生になった現在は、キャッチャーフライへの対応力や配球を上手く組み立てることができるようになり、これらを自身の強みとして、チームの司令塔でもある捕手として活躍しています。

目指すは全国優勝

将来の夢はプロ野球選手になることだと話す丸石さん。そのため、自分自身のレベルアップをする必要があると考え、今回のセレクションに挑戦しました。選抜チームで昨年11月から毎月行われている合宿では、自身の課題も見つかったそうです。

「選抜選手のレベルが高く、バットイングの時に変化球に対応できないことを痛感しました。これからさらに練習に打ち込み、変化球に対応できるスピードやバットスイングを身に付けたいです」と語ります。

「全国大会には、結果を求めて挑みたいと思います。北海道の野球を全国に見せ、優勝して帰ってきたいです」。

丸石さんは、3月の大会に向け、熱い思いを胸に練習に励みます。

きらり

KIRARI

まる いし たか のぶ

丸石隼伸さん(富岸町)

野球チーム『登別ビッグ・フラップ・オーシャン』に所属する丸石隼伸さんは、10月24日・25日に鶴川町で開催された、『北海道選抜選手Uⁿd^er 14統一セレクション』で選抜入りを果たしました。同セレクションには、道内各地の有力選手約90人が参加。その中で丸石さんは捕手部門約20人中合格者2人という狭き門を見事突破し、さらに、チームを引っ張っていく主将にも選ばれました。

ことし3月に千葉県で開催される全国中学生軟式野球大会に向けて、毎月、選抜チームの強化合宿に参加している丸石さんに、野球への思いや今後の抱負などを伺いました。

周りへの声掛けを大切にし、プレーに磨きをかけていきたい。



平成13年、登別市生まれ。14歳。

幼いころから野球に親しみ、小学生の時に野球チームに所属。中学2年生となった現在は、『登別ビッグ・フラップ・オーシャン』で捕手として日々練習を重ねるほか、主将としても活躍し、チームを引っ張っている。